



革の魅力は、使い込むほどに表情を変え、
私たちがいつまでも楽しませてくれるところ。

そしてこの富田興業には、
他にはないレザーと出会える驚きと
発見に溢れている。

TLF
TOKYO LEATHER FAIR

富田興業株式会社 藤田 晃成

Interview,2

青いレザーの色がとってもきれいですね。
今期のテーマは何でしょうか？

「水」がテーマです。濡れた雰囲気や、水の柔らかい質感を表現しています。シンプルさをニュアンスや色で魅せるのが今期の特徴ですね。



常に革新的なお取り組みをされていていらっしゃいますが、
新たに始められたことはございますか？

「レザーのブランディング」です。レザーのプロとして、素材の良さをお客様にご紹介することが目的です。まだまだお客様の目に触れないところで、スポットの当たっていない、けど、とても良い素材がたくさんあります。それを是非ご提案したい、という素直な気持ちです。

なるほど。御社の商品に対して、求められていることは何だと思えますか？

高品質であることですね。それと、トレンド性。今回も、アウトドアの素材とレザーを掛け合わせた商品をご紹介します。

いつも御社の商品には面白い発見があります。
12月も楽しみですね。

ありがとうございます。レザーの長い歴史の中で、原皮そのものは、（個体による違いはあるものの）大きな変化はないと思います。その歴史の中で最も進化してきたのは、薬品です。薬品は常に研究開発され新しいレシピが生まれています。そこに、守り次がれてきた人の手による技術がある。これからも、日本ならではの素材を追求、そして、素材の良さを生かしたプロダクト開発も目指していきたいと思います。レザーの進化は終わりがいいからやめられないんです。